タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ストリングアート	中	美術 Ｂグループ （美術）	

＜ねらい＞
・見通しをもちながら、つくったり、描いたりする楽しさを味わう。
・手指の働きを十分に促し、簡単な道具が使えるようになる。
①自分で工夫しながら取り組むことができる。（思考・判断・表現）（学びに向かう力・人間性等）
②道具を安全に扱い、釘を打ったり、糸をかけたりすることができる。（知識・技能）
③手指をしっかりと使い、力を調整しながら釘を打ったり、糸を引っ張りながら巻いたりすることができる。（知識・技能）

＜内容＞
①裁断・削る
・板を裁断機でカットし、紙やすりで板の平面や側面を削る。
②木材の保護材塗る。
③印を付ける
・好きなイラストの上に、釘を打つ目印となる黒点を書く。（だいだい１.５㎝間隔）
④釘を打つ
・目印に合わせて、釘を打つ。釘の高さを一定にするため、洗濯ばさみを使用する。釘が斜めになった時は、釘抜きを使って抜いたり、調整したりする。
⑤糸を巻く
・下絵のイラストに合わせて糸を選ぶ。
・最初と最後に玉結びをし、糸がほどけないようにする。
・適度な力で糸を引っ張りながら、外側→中心の順に糸をかけていく。
・上・下・上・下と、同じ方向に糸をかける。隙間があれば、埋めるように様々な方向に糸をかける。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）＞
・好きなキャラクターやマークを選択できるようにすることで、根気よく取り組むことができた。
・同じ活動を繰り返して取り組むことで、釘の打ち方や糸の巻き方など、徐々にコツをつかんで工夫する姿が見られるようになった。
・釘を打つ際、洗濯ばさみを使用した。洗濯ばさみをすることで釘を固定することができ、安全に打つことができた。また、洗濯ばさみの高さで釘が止まるため、終わりが分かりやすかった。

＜その他（材料）＞
・板、保護材、釘、洗濯ばさみ、刺繍糸、イラストなど